

革新懇全国交流集会 in 千葉

日時：10月31～11月1日
場所：習志野文化ホール等

ちば労連

ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール chibarouren@axel.ocn.ne.jp

第 286 号 URL 版 2015 年 9 月 30 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043 (221) 0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1 面】

戦争は最大の人権侵害

千葉労連第 27 回定期大会

9 月 7 日、千葉県教育会館 501 号室にて開催された千葉労連第 27 回定期大会には、代議員・役員・来賓含め 156 人が出席しました。25 人の代議員からの活発な発言により 15 年度運動方針がより深められ、全議案が満場一致で採択されました。15 年度の新たな役員も選出されました。



戦争法反対の意思統一

今大会は議長団に市川浦安労連の大塚代議員、千葉土建の海老原代議員を選出。松本議長のあいさつ【要旨別掲】の後、来賓の野村全労連副議長、千葉民医連の加藤事務局長、中央労働金庫の日高千葉県本部長、日本共産党の齋藤衆議院議員・浅野参議院候補から激励のあいさつがありました。

議案提案は、本原事務局長による 15 年度運動方針（案）、広瀬事務局次長による財政方針・予算（案）があり、新加盟組合の紹介、争議団の紹介がありました。

討論では、25 人の代議員から活発な発言【要旨別掲】がありました。

討論のまとめとして、本原事務局長より「戦争法案」をめぐるたたかいについて特に強調し「今日の大会は、戦争法案阻止のたたかいの意志統一の場でもある。政府により強行採決される可能性はあるが、我々は最後まであきらめず粘り強く何としても廃案をめざしてたたかう。万が一強行採決されても、ただちに抗議し廃止を求める運動に立ち上がる。若者や女性の間で広がっている運動はこれまでのたたかいとは違い、国民はあきらめない。われわれもそうした運動に信頼し、共同を呼びかけながら、来年の参議院選挙を待たずに解散総選挙を迫る運動を作り上げていこう」と強い決意を述べ総括総弁。その後の採択では全議案が満場一致で可決されました。

続く役員選挙では、立候補した候補者全員が信任され新役員が選出されました。「許すな！戦争する国づくり、労働者使いすて社会 実現しよう！政治の転換、つくろう！7 万千葉労連」のスローガンを確認し、団結がんばろうを三唱し閉会しました。

戦争と貧困から人権を守ろう

松本悟議長あいさつ

本日の第 27 回千葉労連大会は、戦争と貧困から人権を守るために総決起の意思統一を勝ちとることが目的です。戦後、くらしと平和と民主主義を守ってきた歴史と伝統を引き継ぐのが我々の使命であります。

さて、情勢は資本主義の本質である搾取競争の結果、資本家に富が労働者に貧困・労働苦などが蓄積し、行き詰まっています。安倍政権は、この閉塞を反動的に打開するため、戦争ビジネスと搾取強化に向かって、暴走しています。この暴走に対し、要求に基づく一点共同が燎原の火のごとく広がり、暴走すればするほど、安倍政権は墓穴を掘っています。

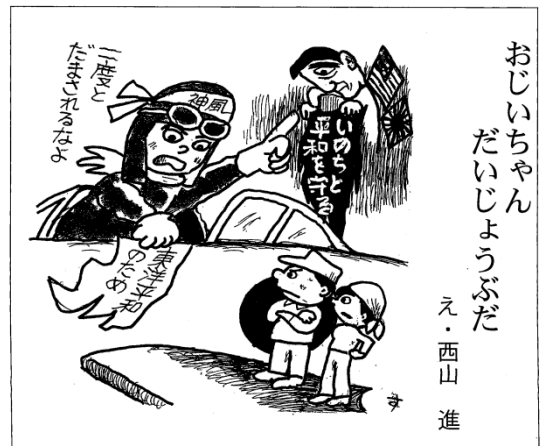
たたかう方針は 3 つです。一つは労働組合の命である要求実現に全力をあげることです。最大の人権侵害である戦争と貧困を無くすために、草の根からたたかうことです。6・13 戦争法案反対 4000 人千葉県民集会後、8・30 国会包囲 12 万人行動、千葉では 9・2、9・9 房総半島総行動など、県下各地で空前の運動が広がっています。また貧困をなくす運動では、「労契法 20 条を活かす千葉の会」5・12 結成集会に連合の重鎮が激励に駆けつけるなど共同が広がっている。二つ目は、勝利の秘訣は、団結と統一だということです。具体的には、7 万千葉労連をつくることです。三つ目は、労働者の要求を実現させるため、市町村政・県政・国政を変えるたたかいを強化することです。とりわけ、森田知事の暴走は目にあまる。17 年の知事選に向け、県政を県民本に変える闘いにも明るい会に結集し力を入れます。

最後に展望です。沖縄の翁長知事が「オール沖縄をつくったのは、政党や政治家だと思っていたけれど、オール沖縄をつくったのは県民だ」と演説した。今、政治を動かしているのは私たちだということに確信を持ちたたかいましょう。



電車内で席をゆずった時など、色々な場面で「ありがとう」と感謝の言葉もらうと、うれしいものである▼先日の東京新聞に、湾岸戦争後のクウェート感謝広告についての記事が掲載されていた。歴代の首相などが国会で「感謝広告に日本の名前を載せてもらえなかった」と述べている。だから、お金だけではダメなんだと▼感謝してほしいから行動するのではない。

困っているから助けてあげたい、何か役にたてればという思いから行動するのであって、その結果として感謝の言葉がってくる。外交はそれほど単純なものではないのかもしれない。でも、形しか求めない政府に私たちの命は預けられない。戦争法案ゼツタイ反対!



【2面】

代議員の発言

東葛労連 青木宏泰さん

APF が 09~12 年までの一時金から支払われるはずの厚生年金が支払っていないことが発覚。全従業員分のもので支払われていなかった。いまだに従業員に対して謝罪も説明もない。徹底的に追及していく。

千葉土建 若菜義幸さん

建設アスベスト訴訟について。全国 8 つ行われている。国のアスベスト対策を改めさせ、要求実現に

向けて頑張りたい。みなさんに署名をぜひお願いしたい。

千葉県国公 山谷修さん

戦争法案廃案に向けて皆さんと運動を強めたい。人勧は昨年に続き形の上では引上げになった。しかし月例給の改定については触れられていない。地域手当により地域間の賃金格差が広がっている。賃下げ違憲訴訟は昨年東京地裁で不当判決が出た。しかしまだ闘いは終わっていない。署名のお願いをしたい。

八千代労連 山本明彦さん

戦争法案反対運動について。4月に地域の共闘が結成され、毎週日曜日宣伝行動をすることになった。9月以降は強行採決という最悪の事態を想定してその後の運動を作り上げていく必要がある。もちろん今国会で戦争法案は廃案にさせるために全力を尽くしたい。

千葉土建 大概正さん

我孫子市の公契約条例制定の取り組み。設計労務単価は上がっても現場の職人には反映されていない。我孫子市の市議と懇談を重ね、職員とともに様々な運動の末に制定に至った。

自治労連 實川理さん

制度見直しで賃金が 2%下がっている。地域手当も、今現在の県内地域差が、さらに広げられようとしている。非正規の組織化の問題は、まずは非正規の思いを聞くところからとアンケートを計画。平和の取り組みについては、NPT再検討会議に 2 人参加。君津市では 34 年間、原爆の展示を組合がやっている。

全教千葉 青木敏之さん

教え子を再び戦場に送らないという誓いのもと、国会前行動や、県内の自治体に陳情書を提出する取り組みをしている。侵略戦争と認めない社会科の教科書が、千葉県立の中学校で採択された。安倍政権打倒、退陣、そして森田県政転換、そして 4 年後の教科書採択を撤回させる県民運動に取り組んでいく。

医労連 遠藤祐子さん

日本医労連定期大会で、医療を守る現場の人間が再び白衣を戦場の血で汚さないという決議をした。前の戦争で、戦場が厳しくなった時、患者さんたちを殺して逃げることになった。二度とこの様な痛苦を味わいたくないし、味あわせたくない。足元から地固めをし、戦争法案を阻止していかなければいけない

東葛労連 岡田勝弘さん

6月から8月の間で宣伝行動を 8 回行なった。短期間でこれだけの宣伝活動をしたことは今までになく、参加人数、署名数ともかつてないものになった。今回は労連単体だったので、今後は他の組織や一般の方とつながっていく活動をしていかなければいけない。戦争法案を阻止するためにもみなさんと共同していきたい。

千葉労連ユニオン 中林正憲さん

JFEで死亡事故が多発している。これは異常な状態だということで、本社に申し入れをした。単なる事故が起きているということではなくて、殺人と捕らえるべき。7月にも転落死亡事故が起き、労働者の命を軽視しているのではないかと厳しく追求。今後、労働局と意見交換の場が持たれることになっている。

郵政産業労働者ユニオン 宇田川朝史さん

日本郵便では 24 万人の労働者のうち、非正規社員 14 万人。正規と非正規の大きな格差に苦しむ仲間が増えている。格差是正するため労契法 20 条裁判を闘っている。支援をお願いしたい。

東葛労連 岩田一夫さん

オリエンタル争議はすでに 39 年間続いている。要請書の一つひとつ裁判官に届け、心を動かしていくことが勝利へとつながると確信している。また、今まで労働運動で蓄積した経験を活かし、地域労連が地域運動の中核を担うような組織を目指す。単組と労連がともに高め合えるよう結集を強めたい。

コープネットグループ労組 清水深華さん

今年最低賃金が 19 円上がったことは喜ばしいことだが、東京で働けば 1000 円以上もらえるとし

た反応が多くあります。全国一律 1000 円以上を目指す必要がある。非正規労働者が増えているなか、千葉労連で非正規を組織化して、みんなが生き生き働ける環境づくりに「非正規センターちば」の設立を要望したい。

千葉労連ユニオン 横山幹雄さん

千葉労連労働相談センターは、県内 2 カ所、6 人の相談員体制で年間 1000 件を超える労働相談が寄せられる。40 代の正規労働者からの相談が多く、メンタル不調を訴えてくるケースが増えていが労災認定も難しく、監督署との連携を強め解決していくことが必要。

全労連・全国一般 藪崎博史さん

ウォーターエージェンシーでの春闘夏期一時金交渉について。会社は大幅に利益を増やしているにも関わらず労働者の賃上げをしない。利益は会社と社員の両方のものであり、利益を社員に還元してほしいと粘り強く交渉を重ね、賃上げを勝ち取った。利益を会社の独り占めにはさせず、今後も戦いを強化していく。

千葉土建 向後三郎さん

16 年度内の社会保険加入義務化について、現場での周知徹底を図るため 10 月に全県 17 か所で相談会に取り組む。班会員や分会でもキャンペーンを行い、組織強化拡大にもつなげ、業界全体を変えていきたい。

市川・浦安労連 法師山康則さん

専門性を持つ労働者と市民との共同を模索する「わくわくフェスタ」を昨年 10 月に開催し 1500 名が来場した。各単産の運動を広げる土台となり成功した。3 月には戦争法案に関する学習、5 月には「圧殺の海沖縄・辺野古」の映画会にも積極的に取り組んだ。

船橋労連 石塚政秋さん

10 月 3 日に「福島の今を知る船橋労連バスツアー」を予定。今回は被ばく牛を買い続けている「希望の牧場」と浪江町商店街をめぐり。積極的な参加を呼びかけたい。船橋労連としては、様々な課題で民主団体との共同を広げ、その中で運動を束ねていく位置づけ奮闘している。

年金者組合 大石武夫さん

国の年金削減に対し、不服審査請求や 300 万署名に取り組んできた。これからは全国 3500 名県内 117 名が原告となり裁判でたたかっていく。年金削減は若い世代にも関係のある事であり、幅広い支援を呼びかけたい。

JMIU 藤根吉雄さん

JMIU の 15 春闘・夏季一時金のたたかいについての報告。職員への家計簿調査や総対話などを行い多数派の要求を作り、経営者要請行動やストライキなど産別結集を強め、昨年を上回る前進回答を引き出すことができた。

千葉県国公 北村明典さん

労働局に勤める者として今日の話は本当に重く受け止めなければいけないと思った。労働局で働いている人間もみなさんの言ってることが正しいと思っている職員はたくさんいる。また職員が足りず局としての仕事をこなさきれない実態もある。人員増を求める署名も行っている。ぜひ協力を。

市川・浦安労連 阿部武弘さん

戦争法案反対の取り組みについて。市川市で反対した 14 人の市議と宣伝行動している。今では県議もこの集まりに参加している。さらに広げていきたい。

郵政産業労働者ユニオン 吉村一成さん

争議支援について。雇止め事件は地裁で全面勝利することができたが、会社側が控訴してきた。非正規だからといって簡単に雇止めをして首を切るという行為を許してはいけない。これからも支援をお願いしたい。

全労連・全国一般 平川健一さん

最賃引上げ運動について。審議員会は公正に審議員を選出していない。そんななかで行われる審議員会はまともな議論がされていないし、傍聴者に資料も配られない。審議員会をもっと民主化する運動が

必要である。

コープネットグループ労組 亀井貴子さん

非常勤のヘルパーの仕事の実態について。8 月から利用者負担が増えた。負担が増えたのにサービスは変わらない。人員もとても少ないし、賃金も安い。若い人たちは将来を展望できない。改善が必要。